

## ベストソリューションはドルビーから



BSデジタル放送が始まりました。このデジタル放送の目玉のひとつが音声方式です。映画と同じ5.1チャンネルまで可能な音声処理技術として選ばれたのはMPEG2-AACと呼ばれる方式です。米国のデジタルTVでドルビーデジタルが先鞭を付けたのに続き、日本ではさらにデータ圧縮能力に優れた最新技術が採用されました。このAAC (Advanced Audio Coding)はMPEG会議で先端技術を持ち寄って組み上げられたシステムで、米国AT&T、ドイツFraunhofer、さらにソニー及びドルビーの4社が特許を保有し、ドルビーが共同ライセンスの管理窓口会社となっています。

デジタル音声技術はDVD-Audioのような容量に制約の少ない分野では24ビット96kHzサンプリングにMLPロスレス圧縮を組み合わせる超高品質伝送に向かう一方、放送や音楽配信などのニュービジネスを可能にしているのはより少ないデータ量でどれだけCDクオリティを維持できるかにしのぎを削ってきた圧縮技術で、「データ量が多い」ことを自慢しているだけでは取り残される時代です。ドルビーデジタル5.1chでは1チャンネル当り約96kbpsのデータ量（PCMの1/8強）で運用されるのに対し、AACでは64kbps（PCMの1/12）で同等あるいはそれ以上の音質を確保できます。現在、BSデジタルの5.1ch放送はデジタルWOWOWやスターチャンネルBSで映画を中心に始まっていますが、ユーザーが本格的にこれを楽しむのは今後各社から登場するAVアンプなどでAACデコーダ内蔵モデルか、あるいは音声マルチチャンネル出力を装備したデジタルBSチューナーでということになります。これからの発展に向け、ドルビーはこれを全面的に支援します。

マルチチャンネル音声の楽しさを広く知っていただくため、ドルビーではステレオスピーカーでパーソナルにサラウンド効果を体感できるバーチャル技術や、深夜でもたっぷりと立体音場に浸れるドルビーヘッドフォン技術も提案しています。また、スタジオなどの番組制作にはドルビーEシステムを提供して、マルチチャンネル環境作りにも努めています。ドルビーデジタルには5.1chプログラムをそのままステレオで聞けるダウンミックスやレベル管理など、あらゆるユーザーを視野に入れたトータルシステムとしての機能も盛り込まれており、その完成度と信頼性は他の追随を許しません。さらに2001年にはステレオプログラムを5.1ライクに楽しむこともできるドルビープロロジックIIが登場します。新しい世紀に向けての私たちのスローガンは、『ベストソリューションはいつもドルビーから』。包括的・先進的なマルチチャンネル戦略の実践を担う私たちの自負を表明するものです。